

# 2025年3月期第1四半期 連結決算説明会

2024年8月20日



株式会社 シード



証券コード  
7743

1. 2025年3月期第1四半期 決算概要
2. 2025年3月期第1四半期 トピックス
3. 2025年3月期第1四半期 見通し
4. 参考資料

- 1. 2025年3月期第1四半期 決算概要**
2. 2025年3月期第1四半期 トピックス
3. 2025年3月期第1四半期 見通し
4. 参考資料

## 国内

- 近視の低年齢化による近視人口の増加、ライフスタイルの変化によってコンタクトレンズの装用人口が増加し、ライフタイムバリューが向上
- 1日使い捨てタイプへのシフトが継続していることや幅広い年齢層へ使用者が広がっている遠近両用コンタクトレンズの伸長、さらにオルソケラトロジーレンズの普及により市場が拡大

## 海外

- 近視人口の増加により世界規模でも市場は拡大
- 2050年には世界人口の半分が近視になるとの研究機関による推計もあり、今後も継続した成長が見込まれている

## 〈今後の戦略〉

- 鴻巣研究所における設備投資によって、売上拡大の足枷となりうる商品供給力の不足を補うため、安定した商品供給と市場競争力を高める新商品の量産体制を整備し、生産力の抜本的引上げを行う
- 主力商品の「シード1dayPureシリーズ」に対する需要の高まりを背景に、乱視、遠近両用コンタクトレンズといったスペシャリティレンズの販売を伸ばし、シリコンハイドロゲルレンズやサークル・カラーコンタクトレンズ、オルソケラトロジーレンズの普及拡大により更なる売上創出を目指す

# 2025年3月期1Q 連結決算ハイライト

連結 [百万円] 百万円未満切捨て	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前期増減額	前年同期比	2025/3期 通期見通し
売上高	7,569	7,952	<b>8,277</b>	+325	+4.1%	36,000
営業利益	352	650	<b>410</b>	▲239	▲36.9%	2,200
(営業利益率)	(4.7%)	(8.2%)	(5.0%)	-	(▲3.2%)	(6.1%)
経常利益	409	709	<b>507</b>	▲201	▲28.4%	2,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	184	426	<b>359</b>	▲67	▲15.8%	1,400

<b>売上高</b>	国内のコンタクトレンズ需要が順調に拡大を示したものの、生産能力による制約もあり、売上高は8,277百万円（前年同期比4.1%増）
<b>利益</b>	一部の輸入商品で円安の影響を受けたものの、生産数が増加したことにより粗利率が上昇

# 事業別売上高

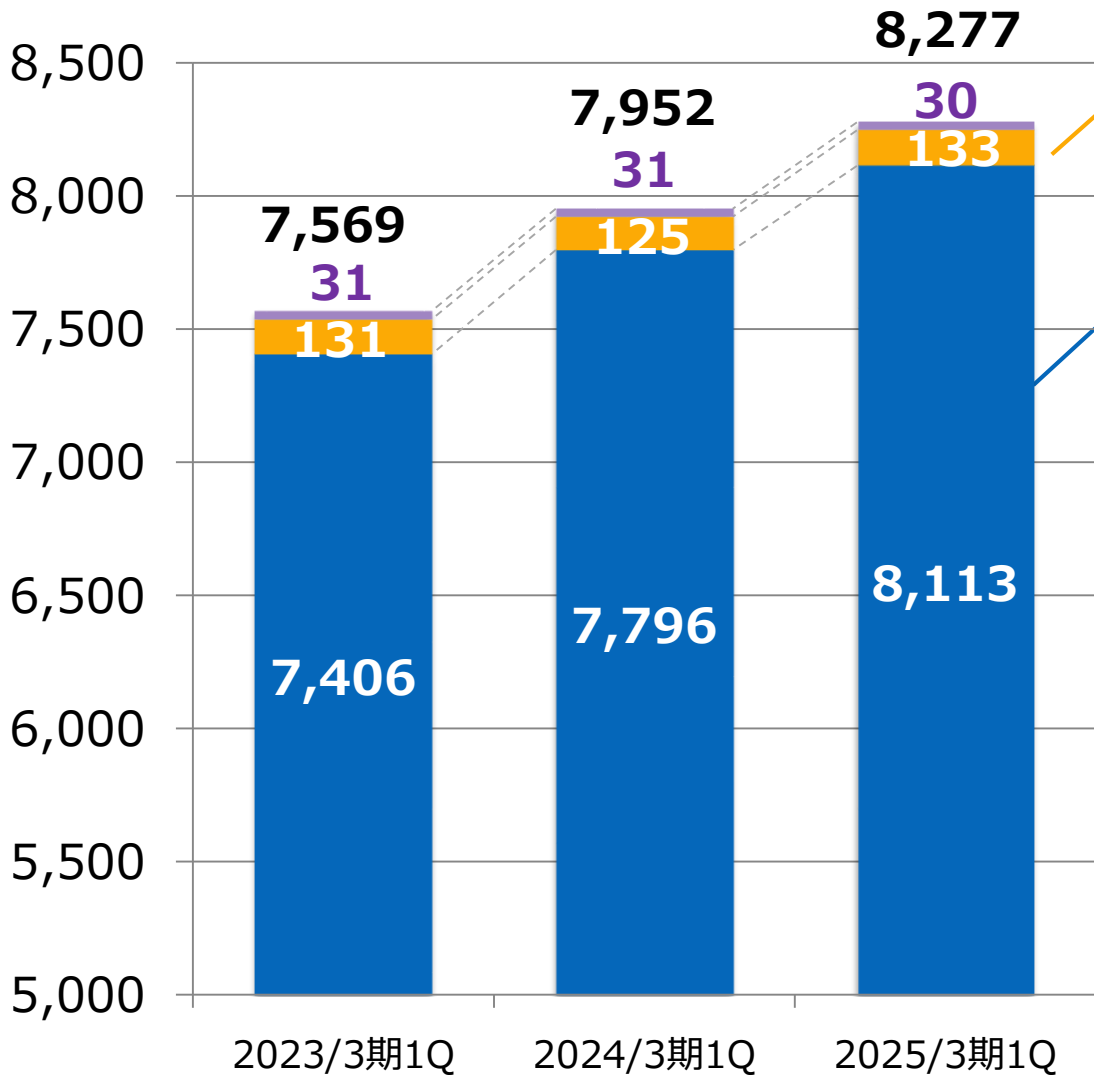
連結

※コンタクトレンズ：光学器械含む ※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



## ケア用品

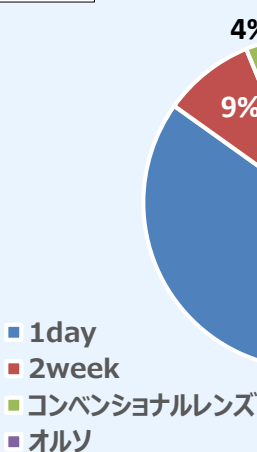
✓ 「オルソケラトロジーレンズ」関連のケア用品が増加したことにより  
前年同期比6.4%増

## コンタクトレンズ

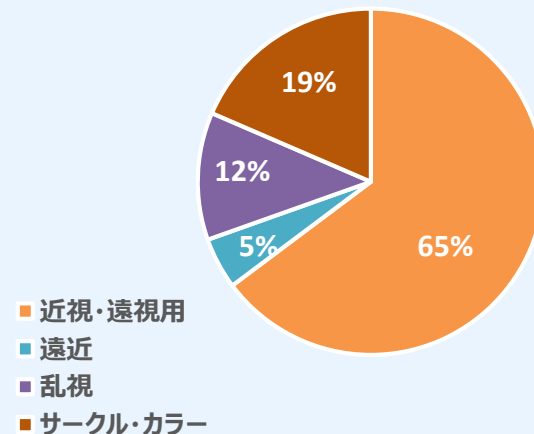
✓ 「シード1dayPureシリーズ」の需要増等により前年同期比4.1%増

単体

### 売上高CLカテゴリ比率



### 売上高1dayカテゴリ比率



### カテゴリ別対前期増減比率（単体卸売ベース）

ワンデーピュア	1.3%増	2ウィークピュア	4.4%増
サークル・カラー	3.8%減	遠近両用	8.4%減
オルソケラトロジー	24.8%増		

※2024年2Qより乱視・一部遠近両用において納期遅延が発生

※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計（東レ製品は除く）

# 利益増減分析

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

ケア用品 +8  
その他 △1

※コンタクトレンズ：光学器械含む  
※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む

人件費+121 広告宣伝費+93  
研究開発費+89 物流関連費+22  
その他+200

親会社株主に  
帰属する  
当期  
純利益  
426

コンタクト  
279

粗利益 +286

販管費の増加  
△526

営業利益 △239

営業外収益の増加  
+61

営業外費用の増加  
△23

特別利益の増加  
±0

経常利益 △201

特別損失の減少  
+21

税金等の減少  
+114

親会社株主に  
帰属する  
当期  
純利益  
359

0

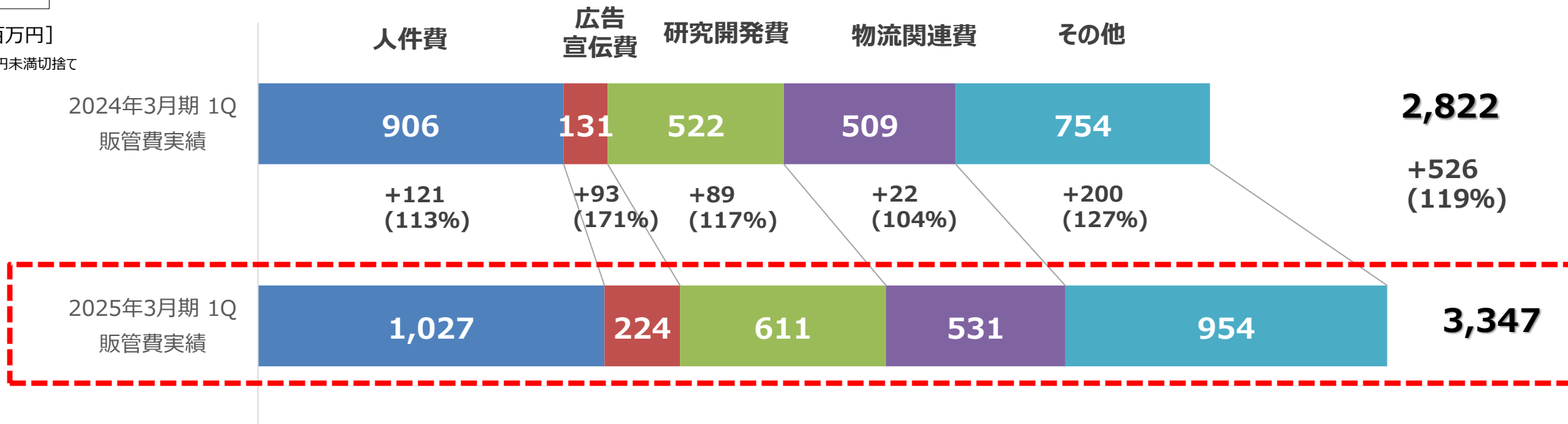
2024/3期 1Q

2025/3期 1Q

# 販管費の状況

連結

[百万円]  
百万円未満切捨て



- 人件費 : 人員の増加・給与改定、教育訓練の充実により、前年同期比で増加
- 広告宣伝費 : 国内、海外共にキャンペーン・イベントなどの広告活動の活性化に伴い、前年同期比で増加
- 研究開発費 : スマートコンタクトレンズ開発費用、オルソケラトロジーレンズ治験費用により、前年同期比で増加
- 物流関連費 : 国内外の輸送機会の増加、物流資材の高騰により、前年同期比で増加
- その他 : 一過性の費用として本社移転関係・社内インフラ整備費用(100百万円)/仮社屋退去費用(38百万円)などが発生したため、前年同期比で増加

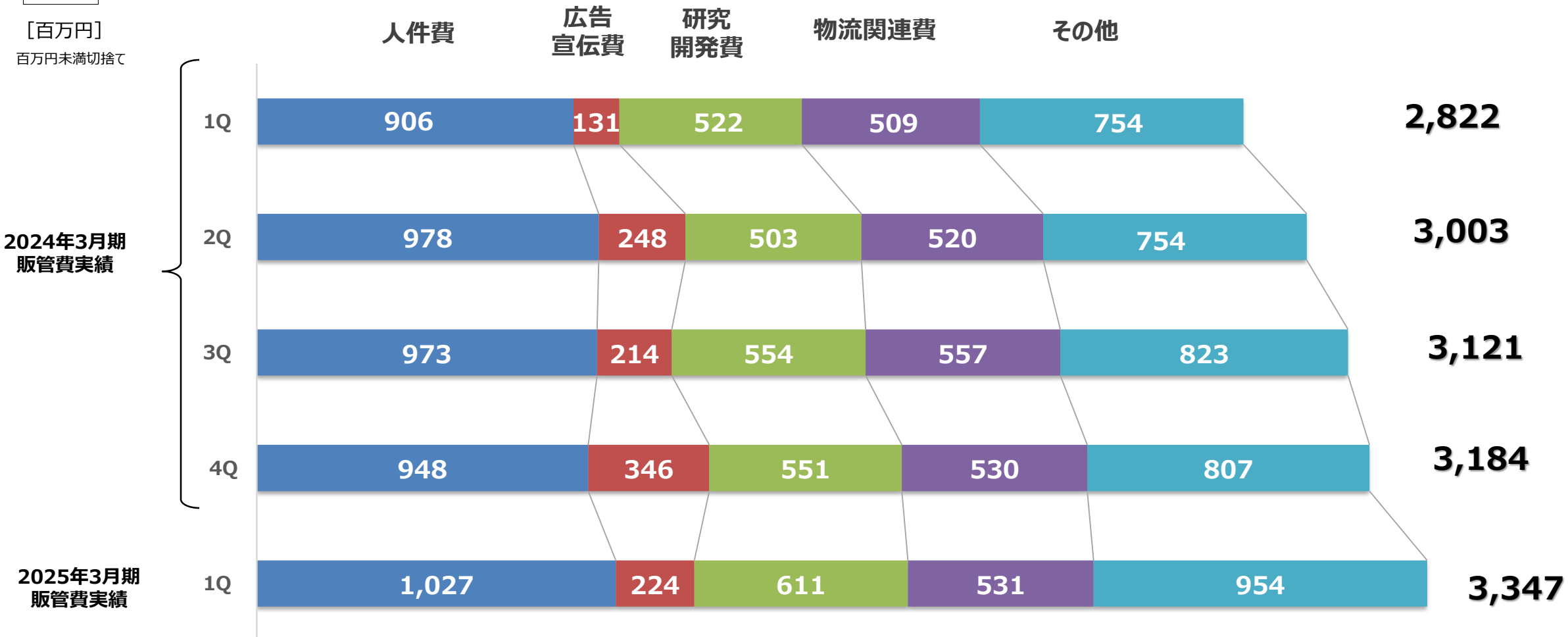


# 参考資料：販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て



# 財務状況推移

連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

	2024/3月末		2025/3月期 1Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>資産の部計</b>	<b>49,574</b>	<b>100.0</b>	<b>53,229</b>	<b>100.0</b>	<b>3,654</b>
流動資産	22,322	45.0	22,570	42.4	248
内 現預金	9,889	19.9	9,461	17.8	△ 427
商品及び製品	4,776	9.6	4,930	9.3	153
貸倒引当金	△ 24	0.0	△24	0.0	0.0
固定資産	27,252	55.0	30,658	57.6	3,405
内 有形固定資産	23,989	48.4	27,460	51.6	3,470
無形固定資産	1,042	2.1	1,006	1.9	△ 35
<b>負債の部計</b>	<b>31,923</b>	<b>64.4</b>	<b>35,444</b>	<b>66.6</b>	<b>3,520</b>
流動負債	19,566	39.5	22,507	42.3	2,941
内 短期借入金	13,498	27.2	13,813	26.0	315
短期リース債務	1,410	2.8	1,518	2.9	108
固定負債	12,357	24.9	12,937	24.3	579
内 長期借入金	4,893	9.9	4,473	8.4	△ 420
長期リース債務	4,380	8.8	5,351	10.1	970
<b>純資産の部計</b>	<b>17,650</b>	<b>35.6</b>	<b>17,784</b>	<b>33.4</b>	<b>133</b>
<b>負債・純資産計</b>	<b>49,574</b>	<b>100.0</b>	<b>53,229</b>	<b>100.0</b>	<b>3,654</b>

2号棟別館、本社竣工により増加

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q	前期比較
<b>営業活動によるC・F</b>	<b>2,000</b>	<b>947</b>	<b>△1,053</b>
内 税金等調整前四半期純利益	686	506	△179
減価償却費	613	775	161
棚卸資産の増減額 (△は増加)	300	△122	△422
仕入債務の増減額 (△は減少)	△171	△132	39
<b>投資活動によるC・F</b>	<b>△ 1,326</b>	<b>△ 520</b>	<b>806</b>
有形固定資産取得	△ 1,329	△ 519	810
無形固定資産の取得	△ 11	△1	9
<b>財務活動によるC・F</b>	<b>△ 434</b>	<b>△ 829</b>	<b>△395</b>
内 短期借入金の純増減額	668	450	△218
長期借入金の返済	△ 577	△ 529	47
リース債務の返済による支出	△ 231	△ 313	△82
<b>現金及び現金同等物 四半期末残高</b>	<b>5,171</b>	<b>9,423</b>	<b>4,252</b>

製品在庫の増加により減少

・鴻巣研究所の2号棟別館竣工  
・本社新社屋竣工

公募増資の資金については  
鴻巣研究所建設費へ充当

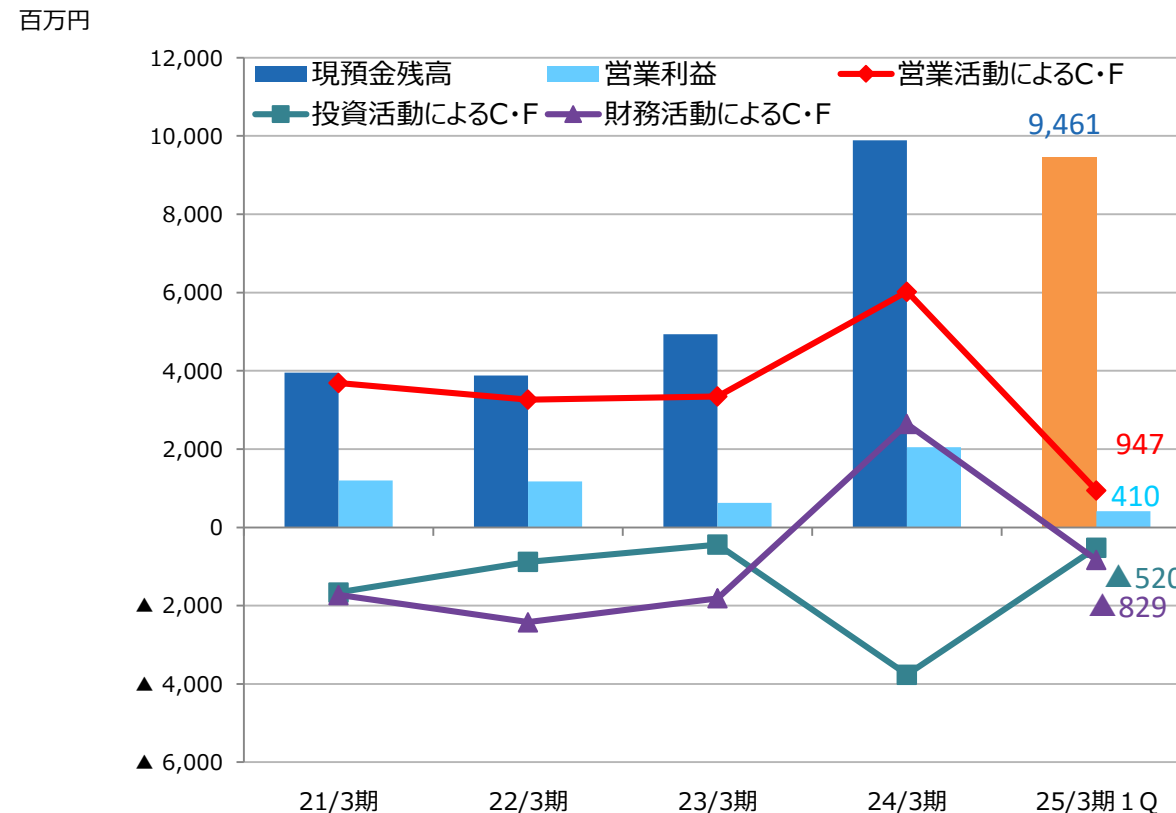
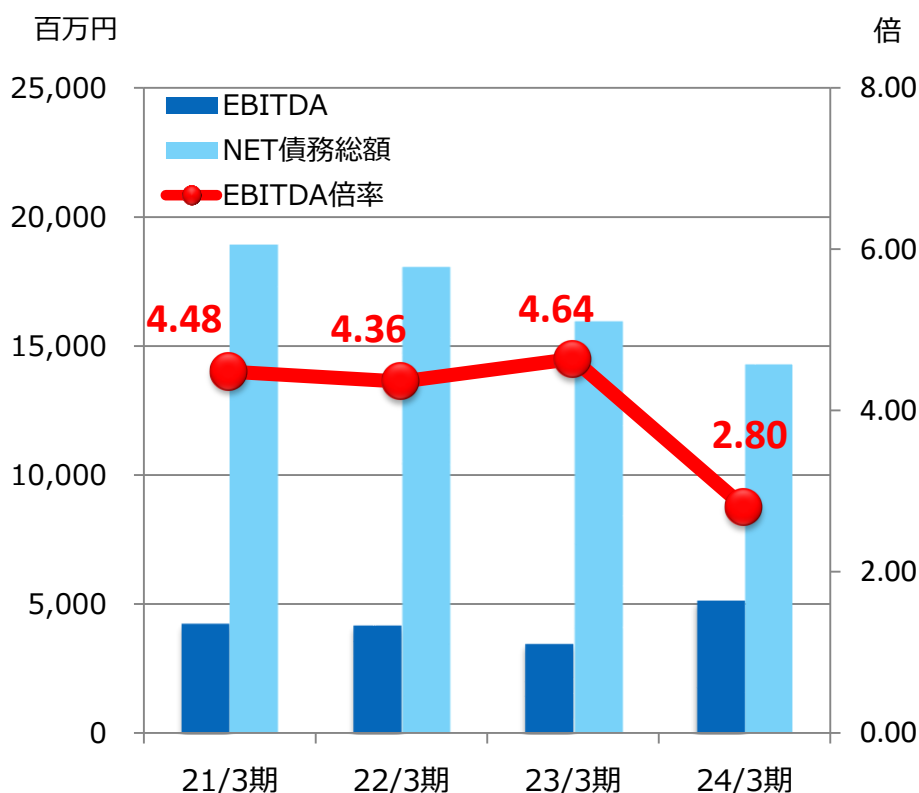
# キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
<b>EBITDA</b>	<b>4,218</b>	<b>4,140</b>	<b>3,438</b>	<b>5,102</b>
<b>EBITDAマージン</b> EBITDA÷売上高	<b>14.7%</b>	<b>14.4%</b>	<b>11.2%</b>	<b>15.8%</b>

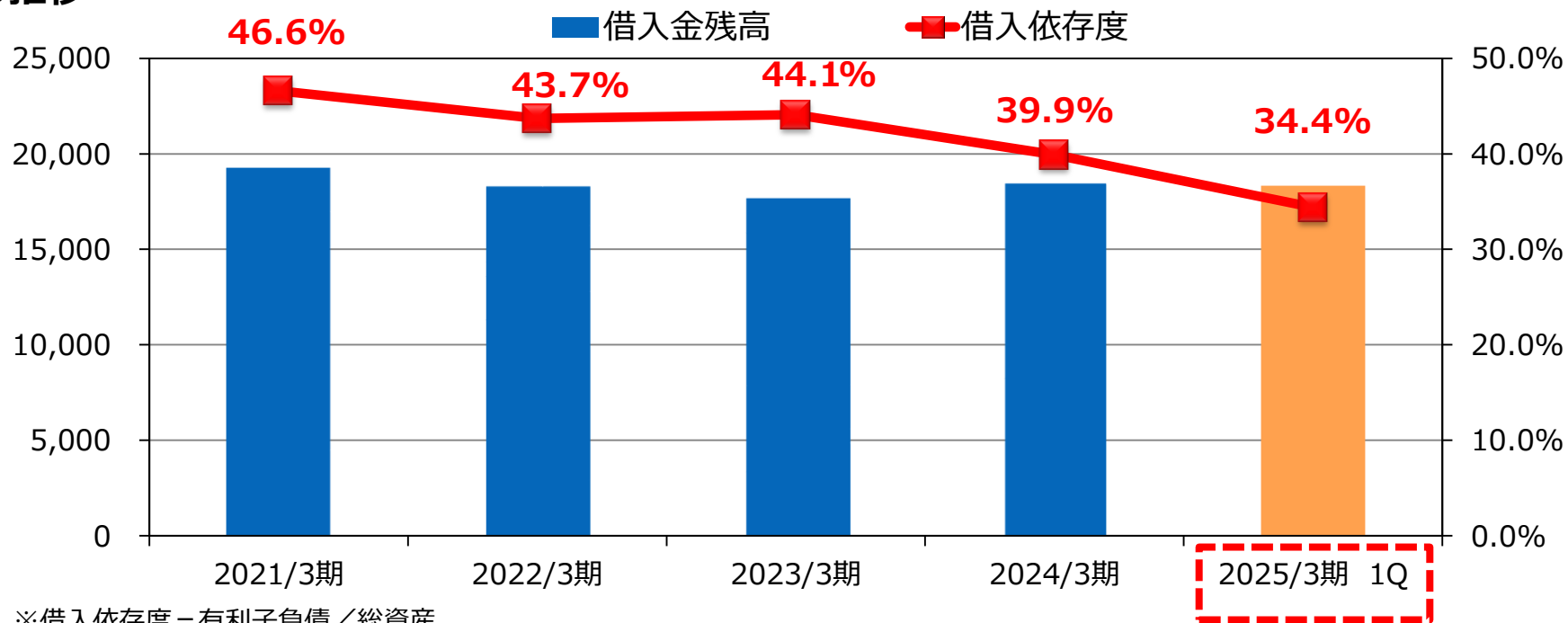
	2024/3期 1Q	2025/3期 1Q
<b>EBITDA</b>	<b>1,385</b>	<b>1,370</b>
<b>EBITDAマージン</b>	<b>17.4%</b>	<b>16.6%</b>



◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

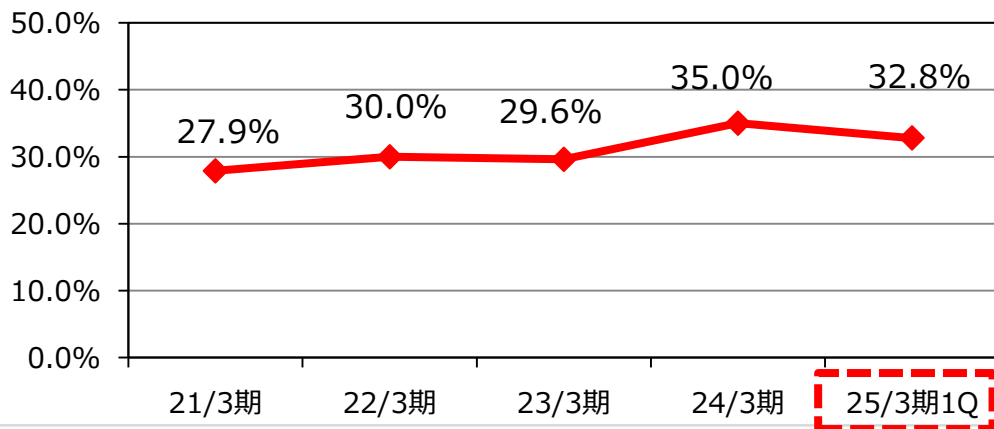
## ◆借入金の推移

連結  
[百万円]

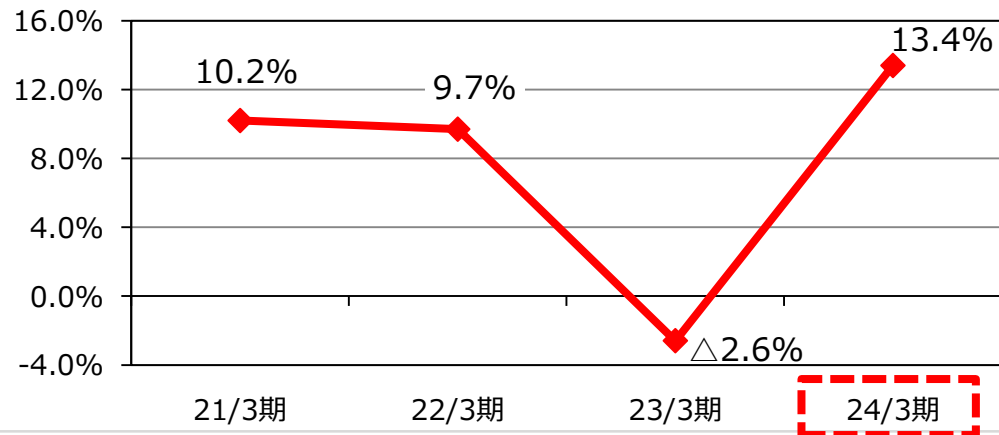


※借入依存度 = 有利子負債 / 総資産

## ◆自己資本比率



## ◆自己資本当期純利益率(ROE)



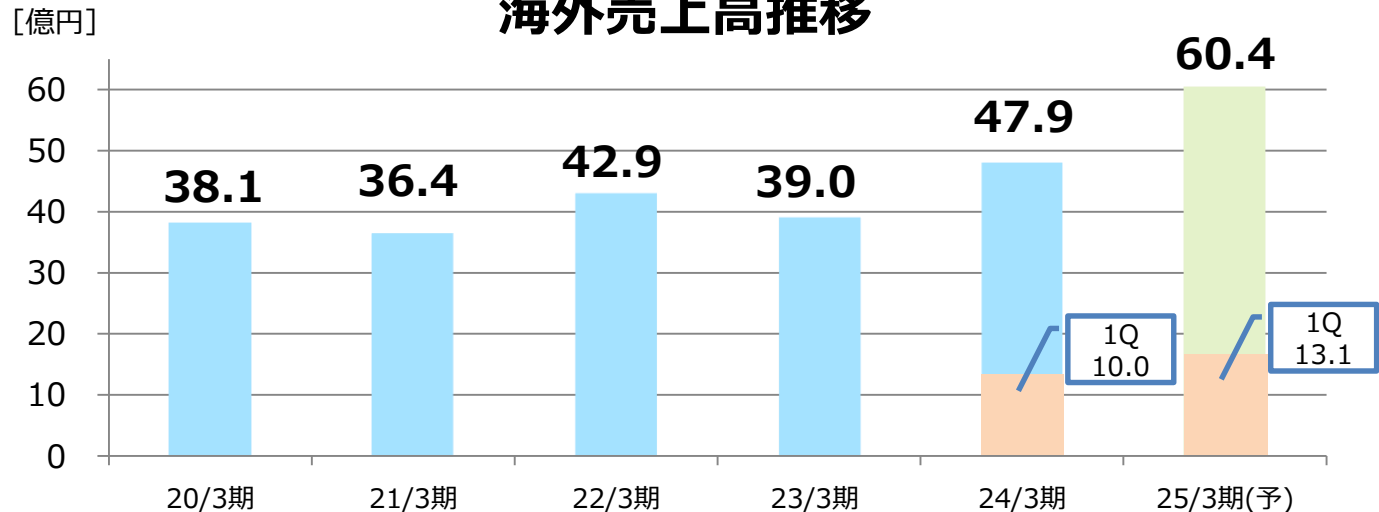
# Made in Nippon Japan Qualityを世界へ

アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に  
**50以上の国と地域**に展開中

## 主な海外商品

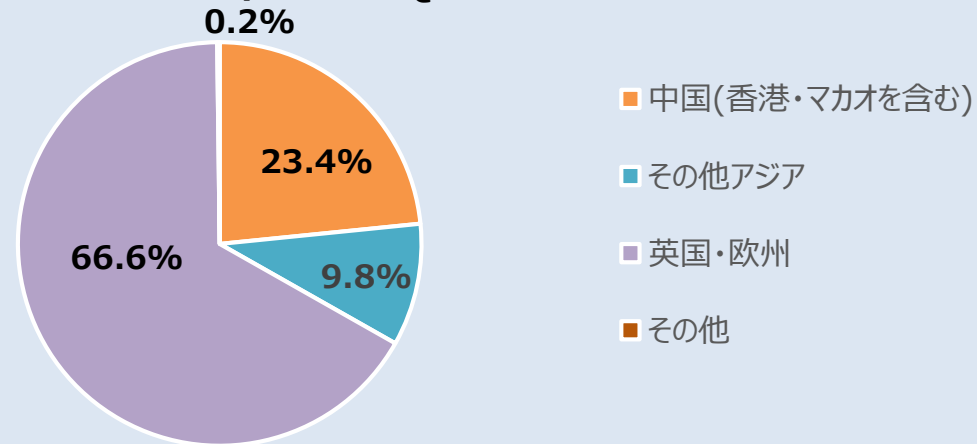


## 海外売上高推移



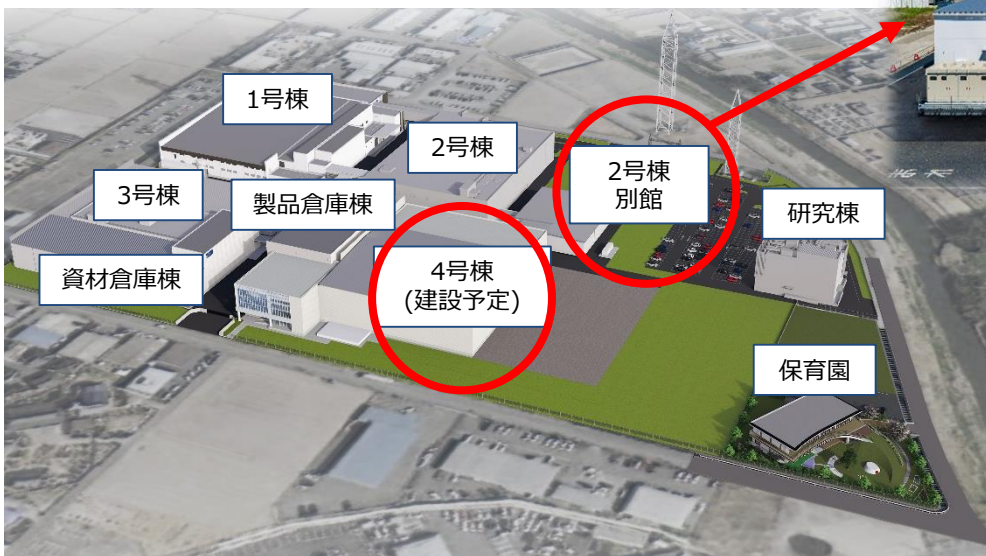
※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計 ※海外売上高推移目標60.4(訂正前61.1)

## 海外売上高構成比 (2025/3期 1Q)



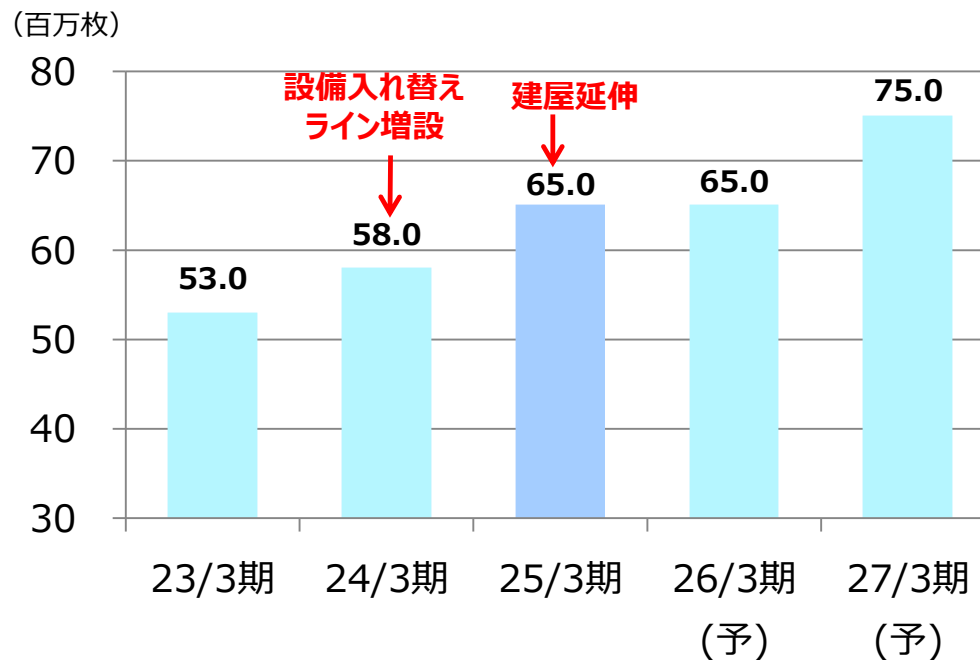
1. 2025年3月期第1四半期 決算概要
- 2. 2025年3月期第1四半期 トピックス**
3. 2025年3月期第1四半期 見通し
4. 参考資料

## <鴻巣研究所全体の鳥瞰図>



2号棟別館  
2024年4月30日に竣工

## <最大生産枚数推移（使い捨てコンタクトレンズ）>



※1 開発用ライン含む使い捨てコンタクトレンズ相当生産数

時期	計画内容(製造工場・製造設備)	最大生産枚数/月 ※1
2025年3月期	2号棟 別館	5,800万枚→6,500万枚 2024年6月より順次稼働
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚→7,500万枚



当社、東京農工大学、徳島大学、早稲田大学、シチズンファインデバイス(株)は、革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))基金事業 要素技術・シーズ創出型プログラムに関する国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT (エヌアイシーティー)) の公募事業に採択されました。

※1 Beyond5G (6G)の能力を最大限に活用し、人々の豊かな生活を実現するためには、生活の中に溶け込む AR 技術の実現が必要になります。 ※2

本研究開発では、「ホログラフィックコンタクトレンズディスプレイを実現する革新的基盤技術の開発」をテーマとして、次世代の AR技術実現のために、目に直接装着できるコンタクトレンズディスプレイの実現を目標とします。

※1サイバー空間を現実空間と一体化させる Society5.0 のバックボーン

※2 Augmented Reality : 拡張現実

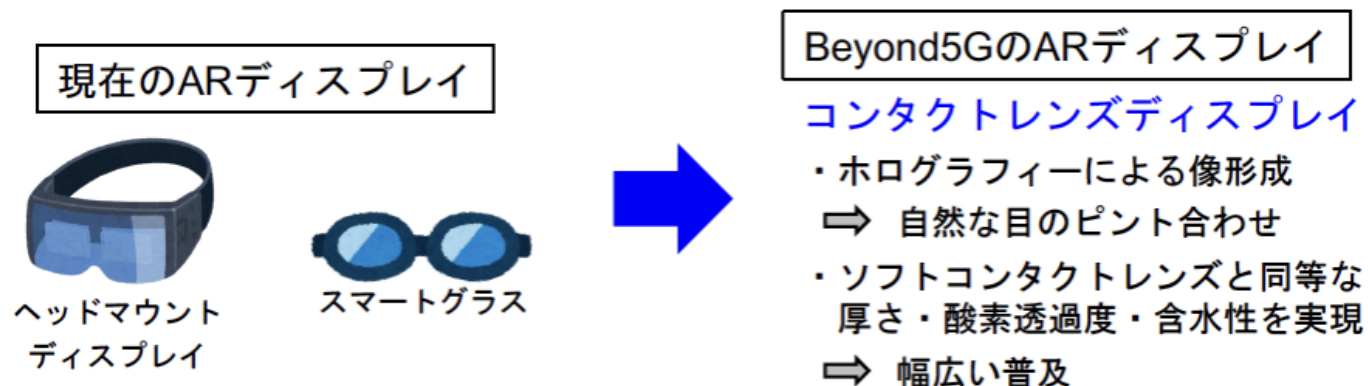


図1 Beyond5GのARディスプレイ

当社、東京農工大学、徳島大学、早稲田大学、シチズンファインデバイス(株)は、2024年度から2026年度までの間に本研究開発に共同で取り組みます。

寝ている間に視力矯正ができる  
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで、角膜形状を変化させ、外した後も裸眼で過ごすことができる治療法。



視力を矯正したい人が



夜にレンズをつけて寝ると...

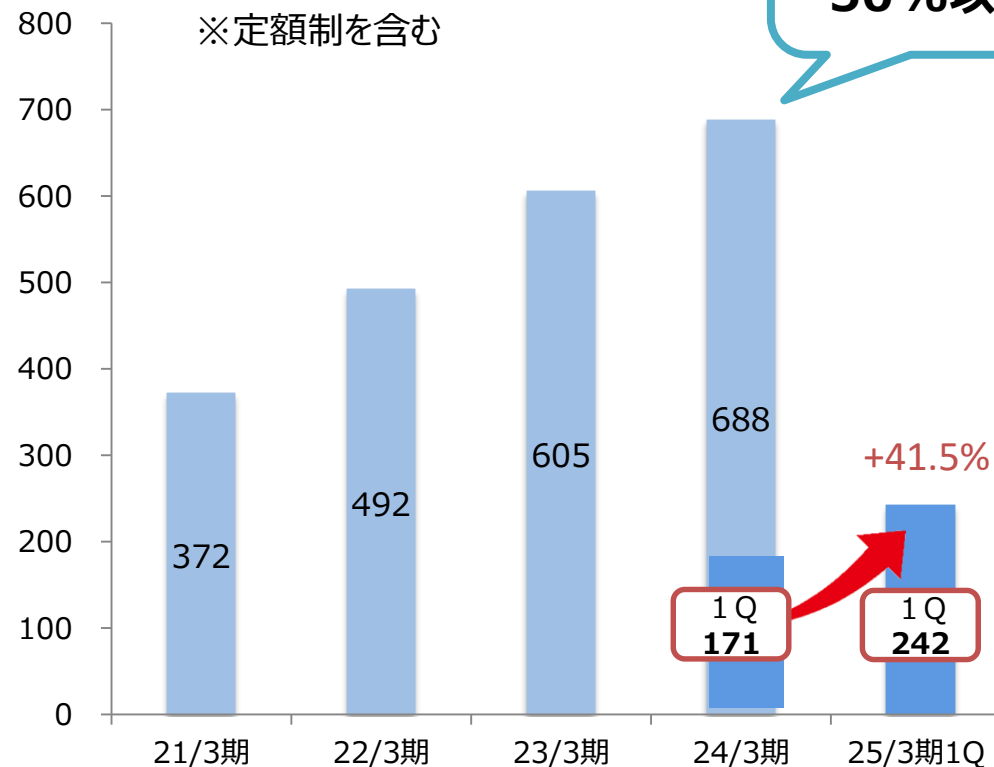


日中は裸眼でよく見える！

[百万円]  
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上

※定額制を含む



国内での  
マーケットシェア率  
50%以上

国内外の状況

日本、東南アジア、香港、インド / 欧州 (Wöhlik社製品を販売) 販売中

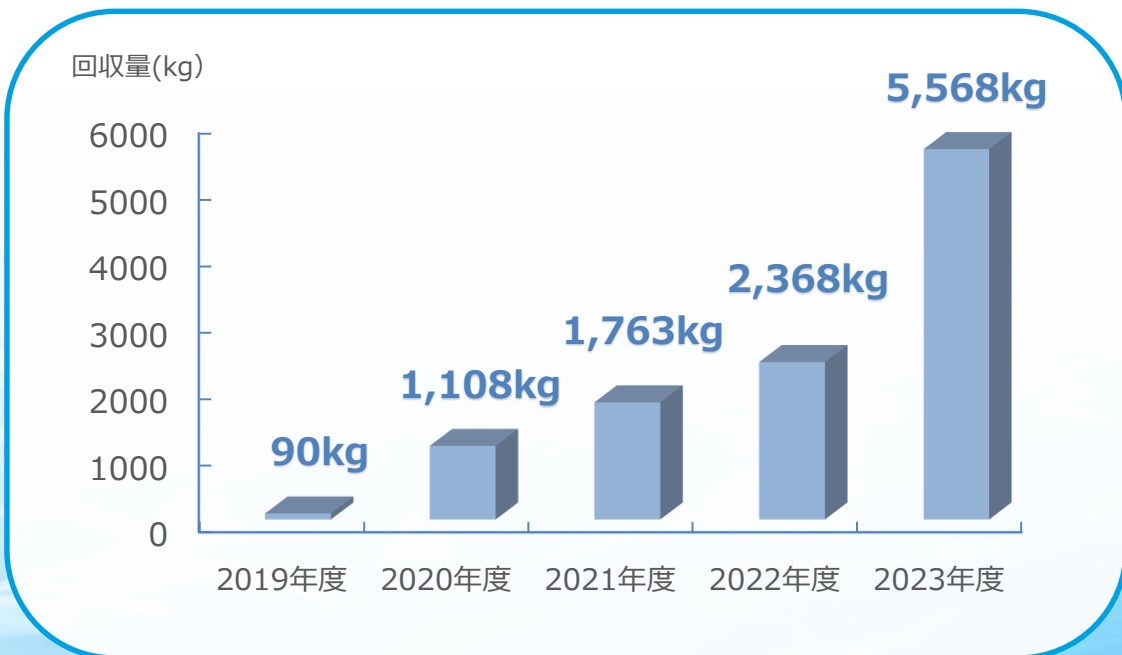


# BLUE SEED PROJECT ～海に愛 (Eye) を～



▶▶使い捨てのコンタクトレンズのブリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト

(2024年7月25日現在)



施設名	施設数
眼科・販売店 (関連子会社を含む)	1,084施設
企業	49社
学校	9校
行政	3市町村

お客さまにお持ちいただいたブリスターはリサイクル事業者へ販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。(サーキュラーエコノミーの実現)  
また、リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付を行っております。

# 今後の成長に向けた取り組み



## Personalization

お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発  
次の量産商品化へ向けて準備中(乱視遠近)



シリコンハイドロゲル

シリコンハイドロゲルレンズの開発



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

テクニカルレンズの開発



国内産初の使い捨てレンズ



## 近視進行抑制

近視進行抑制の効果を確認するため、国内でシード1dayPure EDOF、オルソケラトロジーレンズを用いての治験実施中  
さらに国内外の大学が臨床研究等を実施中



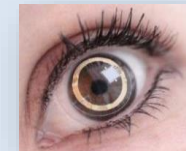
## シリコンハイドロゲルコンタクトレンズの開発

次世代の高酸素透過レンズ開発・治験実施中

## スマートコンタクトレンズの開発



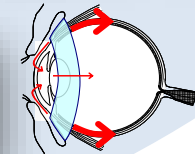
トリガーフィッシュに続く新たなデバイスを内蔵した  
スマートコンタクトレンズの開発  
革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))の  
NICT事業に採択



## DDSコンタクトレンズ



DDS(薬物送達システム)コンタクトレンズの第2相の  
治験が終了し、第3相の治験に向けて準備中



次世代商品の開発

1. 2025年3月期第1四半期 決算概要
2. 2025年3月期第1四半期 トピックス
- 3. 2025年3月期第1四半期 見通し**
4. 参考資料

連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

	2024年3月期	2025年3月期見通し	＜参考＞ 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	32,396	<b>36,000</b>	+3,604	+11.1%
営業利益	2,050	<b>2,200</b>	+149	+7.3%
(営業利益率)	6.3%	<b>6.1%</b>		—
経常利益	2,059	<b>2,100</b>	+40	+2.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,964	<b>1,400</b>	△564	—

- 「シード1dayPureシリーズ」を中心としてシリコンハイドロゲルレンズや遠近両用コンタクトレンズ等の高付加価値商品の拡販に注力

- 生産枚数を増加、逼迫した在庫状況を改善し、さらなる原価率の低減を行う

※2025年3月期において、留保金課税対象外企業であることは2024年3月期と同様であります  
が、現段階においてその他の税制上の付加的な適用は想定しておりません



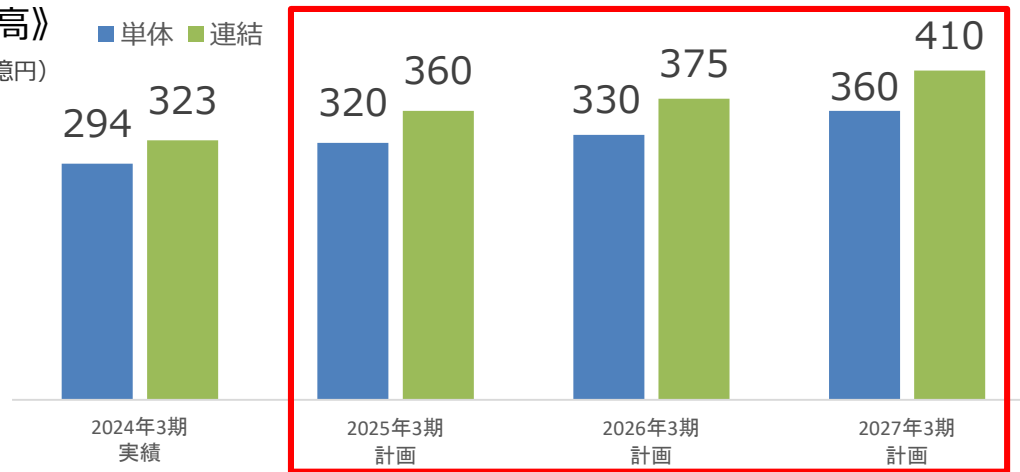
### 【中期経営計画の位置付け】

- 連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保  
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- 省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- 更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- 環境経営の推進
- 人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

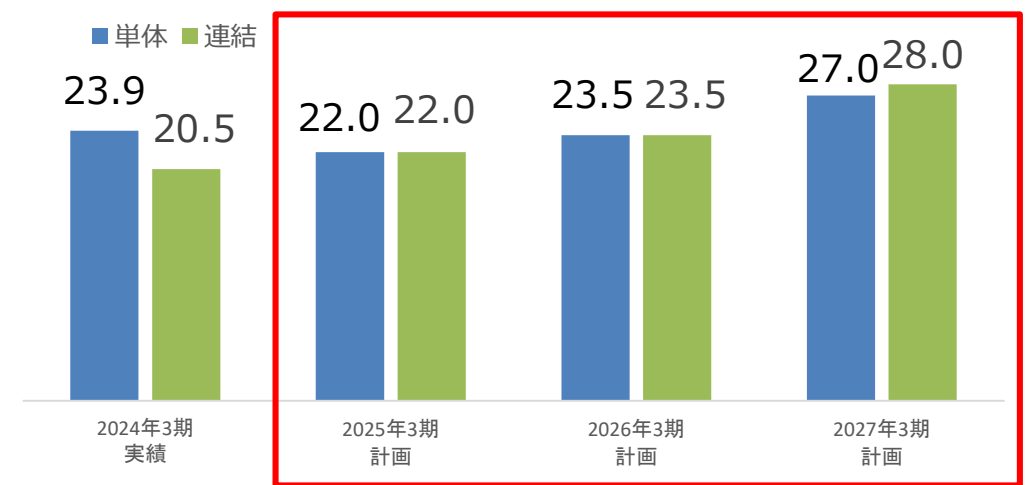
生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。2号棟別館の稼動や歩留まりの着実な改善等による生産力のアップにて収益力の改善にとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

# 中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

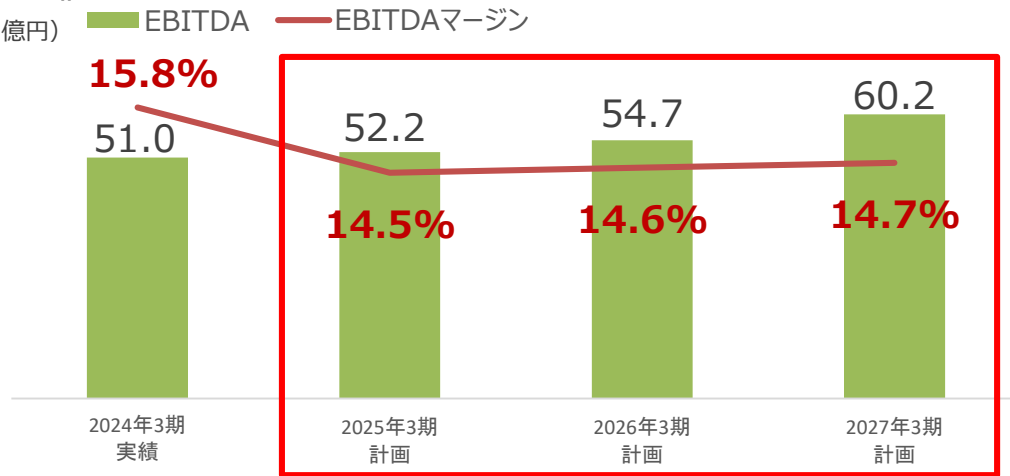
《売上高》  
(単位：億円)



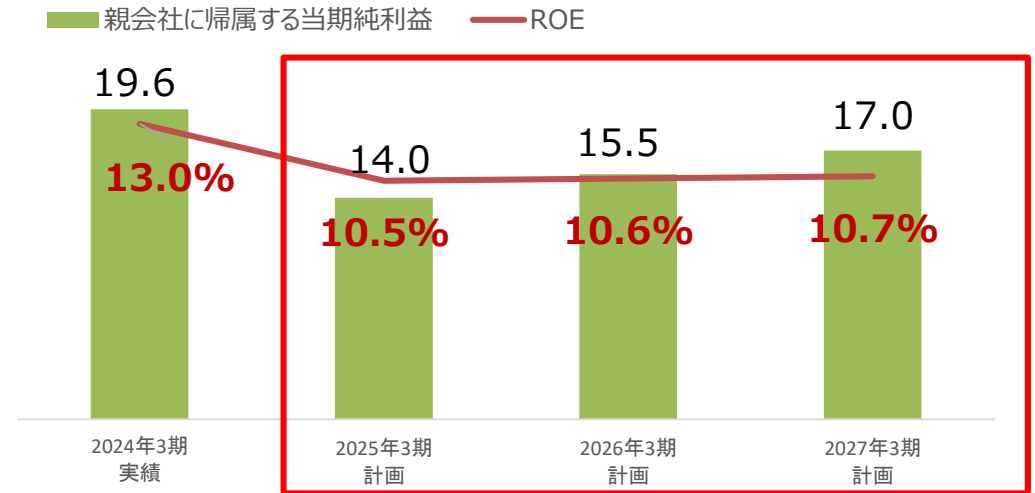
《営業利益》  
(単位：億円)



《EBITDA》  
(単位：億円)



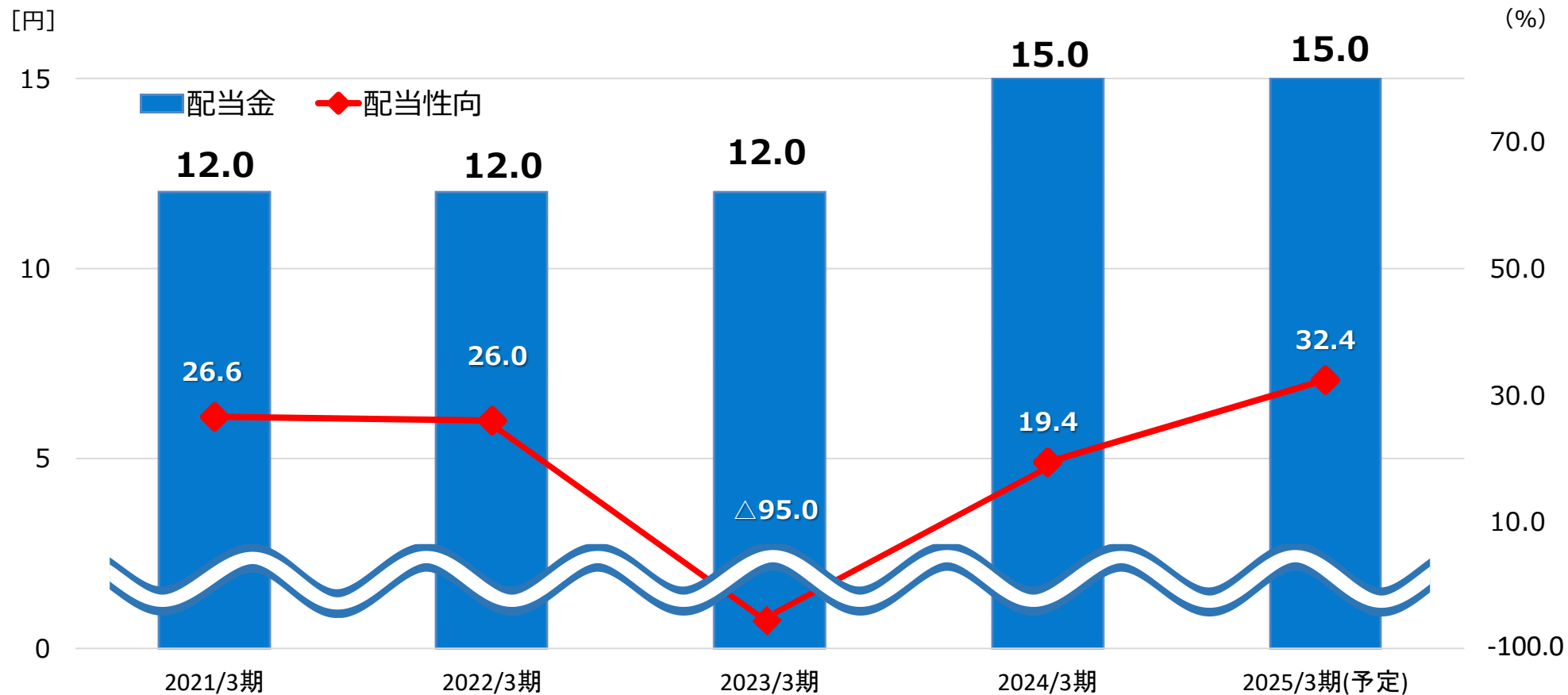
《ROE》  
(単位：億円)



- 2027年3月期は連結売上高 410億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 60億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 10.7% (2027年3月期) を目指す



適切な配当施策の実施のため、配当性向30~40%を目標とした配当の継続を目指しております。



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案



**1株あたり年間配当金額**  
1株につき **15円**

**配当利回り：2.7%**  
※2024年6月28日 株価(終値)558円

## 株主優待対象となる株主さま

毎年3月31日を基準日として、前年3月31日、前年9月30日および3月31日現在の株主名簿に1単元(100株)以上の保有記録が、同一株主番号で3回以上連続の記載または記録がある株主さま。

➡優待制度変更に伴い、2025年3月末日の株主名簿に記載の株主さまに限りまして、1年以上の継続保有を条件とすることなく、株主優待制度の対象とさせていただきます。

※既に保有済の株式における保有株式数と取得時期につきましては、今回の株主優待制度の変更による変更はございません。

コース	優待内容	保有株式数	保有年数	
Aコース	株主優待券	100株以上	1年以上※	
Bコース	当社コンタクトレンズケア用品セット	100株以上	1年以上※	
Cコース	寄付・名産品・QUOカード ※いずれか1つお選びいただけます		1年以上3年未満継続保有※	3年以上継続保有
		100株以上1,000株未満	1,000pt	3,000pt
		1,000株以上3,000株未満	3,000pt	5,000pt
		3,000株以上10,000株未満	4,000pt	6,000pt
		<b>10,000株以上</b>	<b>8,000pt</b>	<b>10,000pt</b>

※2025年3月31日を株主優待基準日とする場合に限り、1年以上の継続保有を条件とすることなく株主優待制度の対象とさせていただきます。以後の株主優待につきましては、従来のとおり1年以上継続保有を条件といたします。

1. 2025年3月期第一四半期 決算概要
2. 2025年3月期第一四半期 トピックス
3. 2025年3月期第一四半期 見通し
- 4. 参考資料**

本社	東京都文京区本郷2-40-2
設立	1957年10月9日（昭和32年）
上場	1989年12月（平成元年12月）
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,337名（連結） ※2024年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他）、その他駐在11（新潟・静岡 他） ※2024年3月末現在
工場・研究所	シード鴻巣研究所（埼玉県鴻巣市）

- 沿革
 

1957年10月	会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」	2016年6月	研究棟竣工
1985年11月	ブランド名をマイコンから「シード（SEED）」に変更	2017年3月	東京証券取引所市場第一部に指定
1987年2月	商号変更「(株)シード」	2017年9月	鴻巣研究所3号棟竣工
1989年12月	社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録	2018年4月	保育・児童施設 ふくろうの森 開園
2007年7月	鴻巣研究所を竣工	2020年11月	鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
2011年1月	鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合	2021年5月	株式会社ユニバーサルビュー合併
2014年3月	東京証券取引所市場第二部に市場変更	2022年4月	東京証券取引所プライム市場へ移行
2014年8月	鴻巣研究所2号棟竣工	2024年4月	鴻巣研究所2号棟別館竣工



「東京コンタクトレンズ研究所」  
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



鴻巣研究所2号棟別館竣工

# コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています

## ■ 国産 シードPureシリーズ



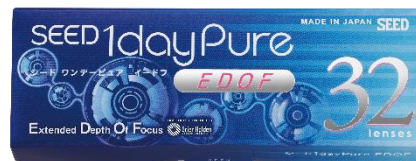
シード1dayPure  
うるおいプラス



シード2weekPure  
うるおいプラス



シード1dayPure  
View Support



シード1dayPure  
EDOF



シード1dayPure  
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure  
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure  
マルチステージ



シード2weekPure  
マルチステージ

Made in Nippon



## ■ 特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト  
シードBi-Expert  
ユーソフト

## ■ 従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ  
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ  
全3種

## ■ オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト®

## ■ シリコンハイドロゲルレンズ



シード1daySilfa



## ■ サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC

## ■ カラーレンズ



ヒロインメイク 1day UV M



ベルミー

## ■ シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 1day UV W-Moisture



シード AirGrade 2week UV W-Moisture

## ■ シードFineシリーズ

乱視用



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

## コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン  
オルソケラトロジーレンズ（プレスオーコレクト）  
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW  
ソフトコンタクトレンズ用  
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト  
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用  
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW  
酸素透過性ハード・  
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

## 多様な人材の確保

### ■ 働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務
- ・フレックス制の導入
- ・時短勤務等の導入
- ・男性育休制度の推進
- ・病児保育料補助手当の支給

### ■ ダイバーシティ化

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用

### ■ 障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定

## 災害対策

### ■ 自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み

- ・BCPの恒常的な推進
  - ・物流拠点の分散化
  - ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
  - ・災害時における安否確認システムの導入
  - ・各事業所や全社用車への防災備品設置
  - ・企業主導型保育園との防災連携
- \* 東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定



### ■ 「eye x 防災」の啓発

- ・自然災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい眼の防災に関する啓発を実施

## 地域・社会の課題解決に向けた取り組み

### ■ 行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結
- ▶ ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
  - ▶ 埼玉県三芳町・吉見町

### ■ スポーツを通じた子供のサポート

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED Presents スターティングキッズ」の企画協賛

### ■ 出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業
  - ▶ 当社リサイクル素材を使用した万華鏡の作成
  - ▶ すごろくを通してSDGsを学ぶ
  - ▶ コンタクトレンズと目の不思議について

### ■ 積極的な地域活動への参加

- ・地域イベントへの積極的な参加
- ・子供向け工場見学、理科実験教室開催



## 環境



### ■ 環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

### ■ 本社建設資金についてグリーンローンフレームワーク設定

### ■ エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

### ■ 「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」パッケージリニューアル

包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

### ■ 「シードエコロジーマーク」の策定

### ■ サーキュラーエコノミーシステムの構築

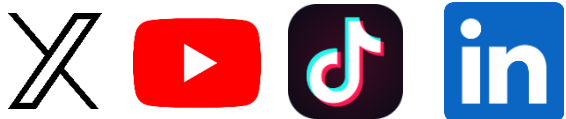
- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化
- \* 日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得
- \* 令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞



## SNS

### シード公式

- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・CSR活動（理科実験教室）
- ・イベントの告知



### 【商品アカウント】

シード1dayPure View Support



シード Eye coffret 1day UV M



ベルミー



## 当社HP



決算説明会・株主総会資料

中期経営計画説明会資料

IRレポート

統合報告書

## その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日（月）より、個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



## 国内子会社

\*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

株式会社シードファシリティサービス

## 海外子会社

\*上海実瞳光学科技有限公司 (中国)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD  
(マレーシア)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中国)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.  
(ベトナム)

\*上海実瞳健康科技有限公司 (中国)

\*SEED Contact Lens Europe GmbH  
(ドイツ)

上海実瞳視光医療科技有限公司 (中国)

\*Wöhlk Contactlinsen GmbH  
(ドイツ)

\*香港実瞳健康科技有限公司 (香港)

\*Sensimed SA  
(スイス)

\*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

\*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.  
(イギリス)

\*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.  
(シンガポール)

\*Ultravision international Ltd.  
(イギリス)

※2024年7月現在

\* : 連結子会社

# SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。